

平成29年度補正予算「省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」
見える化装置(計測装置)の補助対象設備要件の対応可否対応表

対象設備の要件(1/2)

●：必須 ○：任意

	機能区分	対象機器の審査項目	補助要件	対応可否
計測	エネルギー使用量の計測・取得 ※1	設備単位	●	可
		分岐単位(群単位)	●	可
	エネルギー使用量計測・取得間隔 ※2	1時間間隔以内 (30分間隔が望ましい)	●	可
	データ蓄積期間 ※3 (端末でデータ表示できること)	1時間以内の単位 1か月以上	●	可
1日以内の単位 13か月以上		●	可	
見える化	端末	独自端末 ※4	○	— ※5
制御	制御機能	エネルギー使用量の調整機能 ※6	○	可

■ 一般社団法人環境共創イニシアチブ 平成29年度補正予算「省エネ設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」公募要領より引用

※1 エネルギー使用量の計測・取得については、計測しなければならない更新設備(補助対象設備)が消費するエネルギー種別毎に計測できること。

なお、エネルギー使用量の計測・取得方法については、設備単位又は分岐単位(群単位)のいずれかで行うこと。

※2 工業炉についての計測間隔は、時間単位だけでなく、バッチ間隔単位での計測も可とする。

※3 データ蓄積期間とは、計測した所定時間単位のエネルギー使用量のデータを計測装置、又は関連する外部装置に蓄積することができる期間をいう。

※4 汎用性の高いPC・タブレット・スマートフォン・ディスプレイ等は対象外とする。

※5 当社見える化端末はPCなどの汎用品を活用し独自端末不要のため、可否判断の対象外とする。

※6 エネルギー使用量の調整機能とは、自動制御や遠隔制御等、エネルギー使用を調整するための制御機能をいう。

(注)各項目の対応可否は弊社の解釈によるものです。

補助金の交付を保証するものではありませんので、ご理解の程、お願い申し上げます。

対象設備の要件(2/2)

対象設備は、原則、下記の設備区分・種別毎に定める必須取得データを取得できる装置であること。
 なお、計測データを用いて、演算することにより必須取得データを算出する装置も認める。
 [例] 電流値を計測し、その計測値を演算することにより電力使用量を算出する装置は補助対象。
 蒸気発生装置を計測し、その計測値を演算することによりガス使用量を算出する装置は補助対象。

計測対象となる設備の区分・種別		必須取得データ	[単位]	対応可否
1. 高効率照明		電力使用量	[kWh]	可
2. 高効率空調	電気式パッケージエアコン	電力使用量(室外機)	[kWh]	可
	ガスヒートポンプエアコン	ガス使用量(室外機)	[m ³][kg]	可※
	チリングユニット	電力使用量(熱源)	[kWh]	可
	吸収式冷凍機	ガス・油等使用量(熱源)	[m ³][kg][l]	可※
	ターボ冷凍機	電力使用量(熱源)	[kWh]	可
3. 産業ヒートポンプ		電力使用量(本体)	[kWh]	可
4. 業務用給湯器	業務用ヒートポンプ給湯器	電力使用量(本体)	[kWh]	可
	潜熱回収型給湯器	ガス・油等使用量(本体)	[m ³][kg][l]	可※
5. 高性能ボイラ	蒸気ボイラ	ガス・油等使用量(本体)	[m ³][kg][l]	可※
	温水ボイラ	ガス・油等使用量(本体)	[m ³][kg][l]	可※
6. 高効率コージェネレーション		ガス使用量(本体) 発電量 発生熱量	[m ³][kg] [kWh] [J]	可※
7. 低炭素工業炉		電力・ガス・油等 使用量(本体)	[kWh][m ³] [kg][l]	可※
8. 冷凍冷蔵設備	冷蔵庫、冷凍庫、冷凍冷蔵庫	電力使用量(本体)	[kWh]	可
	冷凍機内蔵形ショーケース	電力使用量(本体)	[kWh]	可
	コンデンシングユニット	電力使用量(熱源+別置 型ショーケース等)	[kWh]	可
	冷凍冷蔵ユニット	電力使用量(熱源)	[kWh]	可
9. 産業用モータ	モータ単体、ポンプ、圧縮機、 送風機	電力使用量(本体)	[kWh]	可

■ 一般社団法人環境共創イニシアチブ 平成29年度補正予算「省エネの義設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」公募要領より引用

※ 計測機器からのパルス信号などを取り込む方法により管理可能

(注)各項目の対応可否は弊社の解釈によるものです。
 補助金の交付を保証するものではありませんので、ご理解の程、お願い申し上げます。